

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	電気電子製図Ⅱ		
科目基礎情報								
科目番号	0130			科目区分	専門 / 選択			
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	電気電子工学科			対象学年	5			
開設期	後期			週時間数	2			
教科書/教材	緒方興助他著『電気製図（文部省検定教科書）』実教出版社、2000年/実教出版 出版部『基礎電気・子製図練習ノート』実教社							
担当教員	飯田 聡子							
到達目標								
技術者を志し、創造的な物を構想し、これを図面という標準的な表現形式にまとめ上げるために、図学の投影法を学ぶ。電気の技術者も簡単な機械図面を描く場合もあるため、基本的な作図法を修得しておく必要がある。 機械図面の基本を修得した後、電気図面の基本を学ぶ。社会に出れば、電子回路図面や、単線接続図面から、実際に製作する機会があるので、図面の読み方に慣れるばかりでなく、簡単な図面は描けるようになるまでを、目標に学習する。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
文字・記号、線等の描き方	文字・記号、線等を規格に則ってきれいに書ける。			文字・記号、線等を規格に則って書けるようになる。		文字・記号、線等を規格に即して書けない。		
図面の描き方	記号の意味を理解し、JIS規格に従って様々な図面を描ける。			記号の意味を理解し、JIS規格に従って図面を描ける。		JIS規格に従って図面を描けない。		
電気製図	電気回路図の記号を理解し、設計した電気回路の製図を描ける。			電気回路図の記号と、電気回路の製図を描ける。		電気回路図の記号と、電気回路の製図を描けない。		
学科の到達目標項目との関係								
準学士課程 2(2) 準学士課程 2(3) JABEE B-2								
教育方法等								
概要	文字や線だけでなく、電気回路図を含めた電気電子工学における図面の製図について学習する。							
授業の進め方・方法	講義形式による授業と、その講義内容に即した演習で行う。与えられた課題を出来る限り丁寧かつきれいに描き、提出期限内に担当教員に提出すること。							
注意点	各課題には、それぞれの目的がある。よく目的を理解し、真面目に取り組むことは、将来の自分に対する誠意であると認識すべきである。製図は技術者の言葉である。言葉を持たない技術者は物を作り上げて行くことは出来ない。							
授業の属性・履修上の区分								
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業		
授業計画								
		週	授業内容			週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	正弦曲線・余弦曲線			正弦曲線・余弦曲線が描ける		
		2週	電気用図記号（共通）			電気用図記号が描ける		
		3週	電気用図記号（半導体・通信）			電気用図記号が描ける		
		4週	負帰還増幅回路			負帰還増幅回路が描ける		
		5週	構内電気設備の配線用図記号			構内電気設備の配線用図記号が描ける		
		6週	屋内配線図			屋内配線図が描ける		
		7週	受電設備の図記号			受電設備の図記号が描ける		
		8週	高圧受電設備の単線接続図			高圧受電設備の単線接続図が描ける		
	4thQ	9週	シーケンス図			シーケンス図が描ける		
		10週	機械製図（1）			グラフ用紙に機械製図が描ける		
		11週	機械製図（2）			グラフ用紙に機械製図が描ける		
		12週	電気製図（1）			グラフ用紙に電気製図が描ける		
		13週	電気製図（2）			グラフ用紙に電気製図が描ける		
		14週	電気製図（3）			グラフ用紙に電気製図が描ける		
		15週	自主課題			研究などに関係した製図が描ける		
		16週						
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	レポート	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	70	70
専門的能力	0	0	0	0	0	0	30	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0